

研究主題 入学から卒業までの一貫したサポートのために  
「個別の教育支援計画に基づく授業の改善と指導の充実」  
—課題分析表と指導のスマールステップ表の作成—

東京都立墨田養護学校 杉本 順 他8名

## 1 研究のねらい

急激な社会環境の変化の中、障害のある児童・生徒が自立し社会参加していくためには、家庭や地域において自立する力を身に付けることが求められる。そのため、児童・生徒を取り巻く環境の中で課題を見出し、整理する必要がある。

本研究では、児童・生徒の家庭生活・地域生活における課題を分析し、生活単元学習の課題単元における学習活動と各教科・領域との関連等を分析することによって個別の教育支援計画に基づく授業の改善と指導の充実を図ることとした。

## 2 研究の内容

### (1) 課題単元における学習活動と各教科・領域との関連の分析

生活単元学習には、各教科や領域の様々な内容が含まれているため、学習内容を明らかにし、個々の児童・生徒が必要としている学習上の支援を明確にした。

### (2) 生活単元学習の指導の課題単元における課題分析表の作成

① 指導のスマールステップを作成し、個に応じた指導の充実を図った。

② 基礎研究として3グループに分かれて課題分析表を作成した。

・家庭生活グループで家庭生活における課題を集約し、分析した。

・地域生活グループで地域生活における課題を集約し、分析した。

・旅行等生活グループでその生活における課題を集約し、分析した。

分析表を元に、適切な課題そして指導目標を検討した。

### (3) 個別の教育支援計画の記入・内容・方法等の見直し

① 個別の教育支援計画を充実させ、学校と支援機関が共通の方法で指導できるようになった。

② 個別の教育支援計画の書き方について共通理解をもった。

③ 個別の教育支援計画を策定し、実際に支援機関と連携した事例を出し、児童・生徒の成長を確認した。

④ 支援機関との連携については、支援連携のステップ・支援経過の記録・具体的な支援の手だて等を検討し、支援の場で即活用できるものとした。

### (4) 事例研究（校外学習に行こう、移動教室に行こう、一人で買い物をしよう、他5事例）

・校外学習に行こうのスマールステップでは、安全面、技能面、マナー面等の領域をおさえ、段階的に指導できるように検討をした。その他の事例においてもステップの実際は、教育実践に役立てる内容とした。

### 3 研究の成果

#### (1) 児童・生徒の家庭生活・地域生活における課題の把握

・個々のニーズに応えるために、課題分析表から家庭生活・地域生活における課題の把握することができ、支援目標が設定できるようになってきた。

#### (2) 授業の改善と指導の充実

① 指導のスマールステップを作成したことにより、児童・生徒の指導目標を適切に順序よく設定できるようになってきた。

② 事例研究をしたことにより、指導の手だてや工夫について、実際の指導場面や支援機関との連携の中より随時改善し、具体的によりきめ細かく設定できるようになってきた。

③ 課題単元における課題分析表を作成したことにより、教科・領域との関連を明らかにし、学習活動や指導目標を明確にすることで、保護者などにきめ細かく説明できるようになってきた。

#### (3) 家庭及び支援機関との連携の充実

家庭においても地域においても学校と同様の指導ができる課題分析表や指導のスマールステップは、保護者や支援機関に説明できる分かりやすい資料である。個人面談や支援会議等で活用し、課題や指導方法を共有し、家庭や地域でともに取り組むことができた。また、相互の指導によって、児童・生徒の課題が克服され、大きな成長がみられるようになった。

### 4 まとめと今後の課題

今回の研究を通じて、家庭や支援機関等との連携・協力が深まり、個別の教育支援計画の充実が図られた。また、各教員に指導の成果をフィードバックして、授業の改善に役立てることができた。今後、これらの事例に加え、日常生活の指導や作業学習等の事例を作成し、「指導の手引き書」を作成していく必要がある。

それによって、全学部が共通の指導の手引き書として活用し、生活単元学習の授業の改善と指導の一層の充実を図っていく。

(共同研究者)

東京都立墨田養護学校 飯田 隆 甲山 睦美 佐藤 靖裕 鈴木 幸代  
竹内 泉 田中 大輔 平林さゆり 森田 敏明